

平成22年の京阪都市圏における人の動き

～第5回近畿圏パーソントリップ調査結果から～

第5回近畿圏パーソントリップ調査の集計結果（「平成22年の京阪神都市圏における人の動き」）の特徴及び「調査データの貸し出し」については下記のとおりです。

《集計結果の特徴》

- ・平成12年の調査結果と比較し、今回の調査結果の特徴は以下の5点です。
 - ①移動量は、高齢化等の影響により、平成12年と比較して約9%減少。
 - ②地域間の移動量は、第二京阪道路や京奈和自動車道等の整備が進んだ大阪市⇔京都市、奈良県北部⇔奈良県南部⇔和歌山県東部等の地域間で増加。
 - ③一人あたりの移動回数は、全体的に減少傾向にあり、特に20歳以上の生産年齢層で減少、一方、65歳以上の高齢者層は増加の傾向。
 - ④移動目的別のシェアは、少子化や情報化社会の進展等の影響により、登校・業務のシェアが減少。
 - ⑤代表交通手段別のシェアは、平成12年と比較して大きな変化は見られないが、年齢階層別に見ると、20～50歳代男性の自動車利用のシェアが低下。一方、50歳以上の女性や65歳以上の男性の自動車利用のシェアが増加。

《調査データの貸し出し》

- ・本集計に用いた調査データは、平成24年12月21日から無償での貸し出し受付を開始します。
- ・受付にあたっては、申出書に申出者の所属及び氏名のほか、利用目的・利用方法利用期間などを記載いただき、審査を行います。
- ・なお、利用目的は、公的機関が行う統計の作成や同等の公益性を有する統計の作成等に限定されており、利用結果については報告が必要となります。
- ・貸し出し方法等の詳細は、下記まで問い合わせてください。

【京阪神都市圏交通計画協議会事務局】

近畿地方整備局 企画部 広域計画課内 TEL06-6942-1141（代）

ホームページアドレス：<http://www.kkr.mlit.go.jp/plan/pt/index.html>